

第6学年 地域の津波被害を考える

1 教科等名

特別活動 学級活動 (防災教育)

【学級活動 (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成】

2 ねらい

(1) 釜石市で過去に起こった津波被害の様子を調べ、津波の恐ろしさを知る。

3 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導 入	<p>1 過去に起こった津波の歴史年表を見て、三陸沖が過去に何回も被害に遭っていることをしる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>過去の津波の歴史を見て、自分の命を守るために必要なことは何か考えよう。</p> </div>	<p>○資料—07をもとに説明、確認をする。</p>
展 開	<p>2 市内にある石碑の写真を見せ、見たことがあるか確認する。</p> <p>3 石碑に書いてある内容を確認し、なぜ石碑が建てられたか話し合う。 ・学習シートに考えを書く。</p> <p>4 津波体験者の話を聞く。 ・話を聞き、感じたことを書く。</p>	<p>○写真—13を見せる。</p> <p>○先人は、後世の人たちに同じような被害に遭わないでほしいと願いこのような石碑を作ったことをおさえる。</p> <p>○石碑以外に「津波てんでんこ」という言葉も残したことをおさえる。</p> <p>○機会があれば行って実際に見ることをすすめる。</p> <p>○動画—14を見せ過去の経験を後世に伝えることが、被害を少しでも減らすことにつながることをおさえる。</p>
終 末	<p>5 今日の学習を通しての感想を書く。</p>	<p>○学習シートに記入させる。</p>

4 授業の様子等



児童の感想

- ・命を守るには、すばやく単独でもいいから逃げるのが大切と思った。
- ・先人の教えを守っていきたい。
- ・今回の授業で学んだことを生かしたい。
- ・避難後は助け合いが大切。

5 指導を終えて

○過去の体験をふまえた体験者の話は何より子どもの心に訴えかけるものがあった。

▲何かの機会に家庭でも災害に直面したときの対応の仕方を話し合ってもらっていると、学校での指導がより生きてくる。

6 釜石市津波防災教育のための手引き（改訂版）との関連 【P 5 3】

7 連携した関係機関等 【なし】